

森林組合だより

発行者／美山町森林組合 南丹市美山町島往古瀬26番地1 TEL.0771-75-0200(代)



第59回 通常総代会開催

令和5年度 第59回総代会を3月26日（火曜日）美山文化ホールにおいて、総代本人出席33名、委任状出席5名、書面による決議115名、合計153名の出席をいただき、無事に開催することができました。

前田好久代表理事組合長の開会あいさつの後、議長に中島典紀氏（宮島地区）を選出し、議事に入り全議案慎重に審議の結果、原案通り可決承認されましたことをご報告申し上げます。

本誌にあげました令和5年度決算『貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案』をもって業務報告と致します。

尚、令和6年度運営の基本方針につきましてもこの紙上で記載しておりますので、ご覧いただき、前年に変わらぬご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

代表理事組合長 前田 好久



美山では6月1日にアユの友釣りが解禁され水面にアユがきらきら光る好季節になってまいりました。

組合員の皆様にはご壮健にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また平素は当組合の運営につきまして格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の梅雨入りは、5月末に宣言されるという異常なはやさでありましたが、今年は偏西風の蛇行により梅雨前線がオホーツク海高気圧の張り出しが強く北上しにくい状況にあり、梅雨入りが遅くなり農産物の成育に影響を与えています。山で仕事をさせていただいている我々にとっては、自然の力にはあらがえないわけですから猛暑続きや集中豪雨に十分備えをもつことはもちろん、どうか許容できる範囲であってくださることを願うばかりです。

さて、すでに、各地区総代様からご報告があったかと思いますが、去る3月26日に開催しました第59回通常総代会におきましては、コロナ禍以前の通常総代会の形態で南丹広域振興局長様をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り開催することができました。

令和5年度の決算としましては、総収益3億2千600万円、当期剰余金を1,200万円あまりとする成績を残すことができました。改めて、組合員様、関係機関の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

しかしながら、年度当初の雪害木処理対応に追われ利用間伐を主とする受託林産販売の

実績としましては、用材取扱高5千万円余りにとどまり例年と比べ低い結果となりました。今期については取扱6千 m^3 、取扱高8千万円を目標として積極的な事業推進に努める所存です。

さて6月から1人当たり4万円の定額減税が始まりますが、一方では東北復興税が終わり、いよいよ森林環境税として納税者1人1000円の徴収が始まりました。今まで気にとめなかった人も自分が納める1000円が山のために徴収されることに関心を持たれることとなります。この原資が森林環境譲与税として森林整備、担い手確保、木材利用促進に充てられることを好機と捉え行政や関係機関と連携して、一層の事業推進を図ってまいりたいと思います。

当組合は、今年で設立60周年の節目を迎えます。森林・林業を取り巻く状況は、近い過去を振り返りましてもウッドショック、コロナ禍、記録的な円安水準、さらには東欧などの戦禍など世界的な情勢に影響を受けてまいりました。

その都度先人の方々のご苦勞や関係機関のご支援により課題克服に努めてきたところであります。

今後においても当組合事務室に掲げてあります「愛林施業」という組合設立時の林野庁長官の書に恥じないように、一丸となって組合運営・事業推進に努力せねばと考えております。組合員の皆様をはじめ関係する行政機関や団体等のご指導とご鞭撻をお願いしましてごあいさつとします。

第59回総代会提出議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 令和6年度 事業計画設定について
- 第3号議案 令和6年度 借入金の最高限度額決定について
(原案) 借入金最高限度額を2億円以内とする
- 第4号議案 令和6年度 役員報酬決定について
(原案) 1. 理事報酬を年額 770万円以内において支給する
支給方法は、理事会に一任する
2. 監事報酬を年額 62万円以内において支給する
支給方法は、監事会に一任する
- 第5号議案 令和6年度 一組員に対する貸付最高限度額決定について
(原案) 一組員に対し払込出資金の20倍以内で100万円以内とする
(転貸資金はこの限りではない)
- 第6号議案 令和6年度 一組員の債務に対する債務保証最高限度額及び年度内債務保証の最高限度額決定について
(原案) 一組員に対し払込出資金の範囲内とする
- 第7号議案 余裕金の運用について
(原案) 余裕金の運用を次のとおりとする
預入先金融機関を京都農業協同組合美山支店、京都銀行美山支店、美山郵便局、農林中央金庫とする
- 第8号議案 災害、その他緊急の場合における必要な処置決定について
(原案) 災害、その他緊急の場合における処置は理事会に一任する
- 付 帯 決 議 本日決議事項中、権利義務に関与しない字句の修正、その他軽微な事項及び行政庁より指示のあった場合においては、その処置を理事会に一任する



令和5年度 事業報告

令和5年度 決算報告 【貸借対照表】

令和6年1月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
1 現 金	119,692	1 買 掛 金	1,646,898
2 預 金	206,095,342	2 受託販売預り金	43,871,646
3 受 取 手 形	582,461	3 短 期 借 入 金	0
4 売 掛 金	2,088,332	4 未 払 金	10,088,989
5 未 収 金	21,523,156	5 預 り 金	12,238,302
6 棚 卸 資 産	8,409,168	6 分収造林預り金	12,908,800
7 前 渡 金	240,000	7 補 助 金 預 り 金	8,459,712
8 立 替 金	33,506,047	8 未 完 成 事 業 前 受 金	19,752,845
9 仮 払 金	687,349	9 雑 負 債	10,797,346
10 未 完 成 事 業 仮 勘 定	18,277,273	流動負債合計	119,764,538
11 雑 資 産	45,520		
12 退 職 資 金		固 定 負 債	
13 差 入 保 証 金	484,980	1 長 期 借 入 金	10,822,000
流動資産合計	292,059,320	2 農 林 漁 業 資 金 借 入 金	0
		3 退 職 給 与 引 当 金	30,251,812
固定資産		固定負債合計	41,073,812
(1)有形固定資産			
1 建 物	21,132,563	負 債 合 計	160,838,350
2 建 物 付 属 設 備	2,113,467		
3 構 築 物	1,462,123	(資本の部)	
4 機 械 装 置	6,485,292	1 出 資 金	76,547,000
5 車 両 運 搬 具	1,557,312	出資金合計	76,547,000
6 工 器 具 備 品	930,893	剰 余 金	
7 土 地	82,871,469	2 資 本 準 備 金	879,692
8 森 林	31,131,278	3 法 定 準 備 金	68,950,000
9 建 設 仮 勘 定		4 特 別 積 立 金	
有形固定資産合計	147,684,397	損 失 補 填 積 立 金	95,270,644
		設 備 拡 張 積 立 金	40,000,000
(2)無形固定資産		役 員 退 任 積 立 金	8,907,000
無形固定資産合計	1,733,789	5 未 処 分 剰 余 金	12,760,960
		剰余金合計	226,768,296
(3)外部出資			
外部出資計	22,676,140	資 本 合 計	303,315,296
(4)その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計	172,094,326		
資 産 合 計	464,153,646	負 債 ・ 資 本 合 計	464,153,646

【損益計算書】 自 令和5年2月 1日
至 令和6年1月31日

科目	金額	
1 事業損益費		
1 事業総収益	326,712,747	
2 事業総費用	256,006,690	
事業総利益		70,706,057
2 事業管理費		
1 人件費	50,621,249	
2 旅費交通費	238,447	
3 事務費	1,322,162	
4 業務費	2,061,692	
5 諸税負担金	4,078,760	
6 施設費	7,198,227	
7 雑費	298,027	
事業管理費計		65,818,564
事業利益(損失)		4,887,493
3 事業外損益		
1 事業外収益	5,072,682	
2 事業外費用	3,610,020	
事業外損益		1,462,662
経常利益		6,350,155
4 特別損益		
1 特別利益	12,423,609	
2 特別損失	12,491,280	
特別損益		△67,671
税引前当期剰余金		6,282,484
前期繰越剰余金		3,711,476
役員退職積立金取崩額		2,767,000
法人及び住民税		0
当期末処分剰余金		12,760,960

令和5年度 剰余金処分案

適要	積算内訳	小計	合計
I 当期末処分剰余金			
1 当期剰余金		6,282,484	
2 役員退任積立金取崩額		2,767,000	
2 前期繰越剰余金		3,711,476	12,760,960
II 剰余金処分額			
1 法定準備金	毎事業年度の剰余金の1/5以上	2,000,000	
2 役員退任積立金			
3 損失補填積立金		2,000,000	
4 出資配当金			
III 次期繰越剰余金	※脚注1		8,760,960

※脚注1 次期繰り越し剰余金中、指導、教育及び情報提供の事業資金は500,000円である。



高野東谷 造林地

令和5年度事業報告 個別事業の概要

指導部門	労働災害ゼロを達成するべく、定期的な労働安全衛生教育の実施・安全装備品等の購入支援などの取り組みを行ってきましたが、転倒による1件の労働災害が発生しました。林業技術者に対して、賃金アップや資格取得への助成強化など待遇改善に取り組みました。また、新規就業者獲得に向け、京都府林業大学校や京都府林業労働支援センター等の就業相談会への参加、WEB等への求人広告等による募集活動をおこなっております。
販売部門	林産請負事業では、1月の降雪による雪害が林道等を中心に多数発生したことにより、その撤去等の工事を多く受注いたしました。しかし、雪害対応に人員を配置したことにより受託林産事業の集約化間伐の実施は計画を大きく下回る結果となりました。また、木材販売価格についても低調であり、合板用を中心に販売価格の維持に努めましたが、取扱平均丸太価格は約11,000円/m ³ と前年度から大きく低下する結果となりました。
加工部門	本年度も河鹿荘へのバイオマス燃料チップ供給事業を中心に取組んできました。取扱量は前年をやや下回りましたが、チップ買取単価アップをいただき、併せてチップ輸送効率の向上や施設の保険見直し等のコスト削減に努めた結果、損益としては計画を上回る結果となりました。
森林整備部門	分収造林事業において、新植を主として実施し計画は下回ったものの前年度並みの事業実施ができました。また、森林整備・治山事業の請負造林事業では、府有林・治山事業を中心に前年度を上回る事業実施であったものの、計画は下回る結果となりました。森林土木においては、利用間伐事業の作業路他、概ね計画通りの事業実施となりました。

令和6年度 事業計画

運営の基本方針

【総括項目】

全国的に問題となっている花粉症対策として、少花粉品種等への植替え事業の計画が国により進められつつあり、今後10年間でスギ人工林の2割を植え替えることを目指すというのですが、管内のスギ人工林は約8,500haであり、その2割となると1,700haの伐採及び植栽が必要となります。これによって生じる丸太素材は、単純計算で10年間で68万m³になります。今後、具体的に事業化されていくことになるとは思いますが、組合員の不利益とならぬよう行政へ対応してまいります。

組合事業といたしましては、引き続き森林経営計画による利用間伐事業を中心として管内の森林整備を進めるべく、ICT技術等を活用して効率的に施業提案を行ってまいりたいと考えております。前年度導入の高性能林業機

械ハーベスタをはじめとした林業機械を効率的に活用するとともに有利販売先の選定等により、組合員の皆様への利益還元の最大化を目指します。

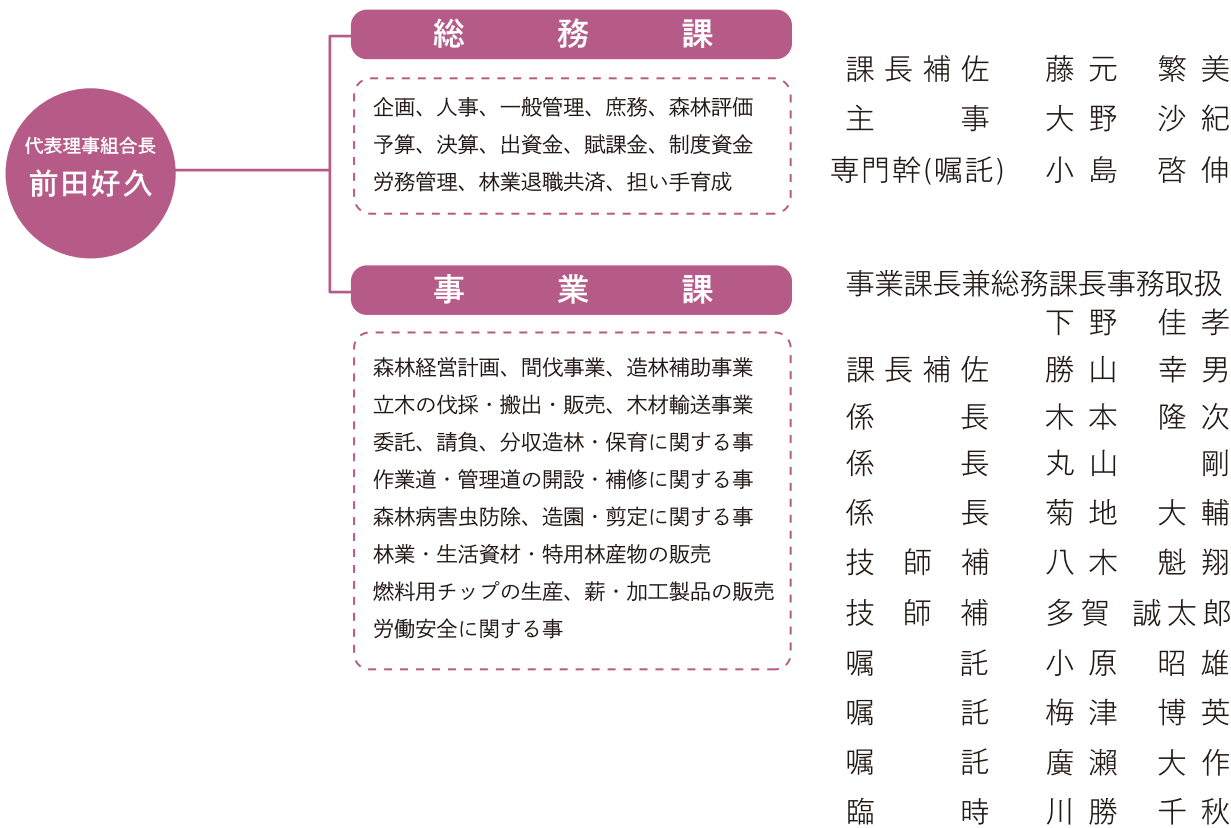
林業業界全体の課題でもあります担い手の確保・育成を進めるにあたり、現場従業員・職員の待遇改善に努め新規就業者の獲得につなげていきたいと考えます。何よりも、従業員への安全講習や安全装備への支援の充実など、労働安全対策の更なる強化を図り労働災害ゼロを目指します。

また、豪雨災害等が多発する中、奥地水源林の保全機能の重要性からも水源林造成事業による新植等を中心とした事業推進とその拡大を目指した新規事業地獲得へ向け取り組んでまいります。

区分	説明
指導部門	<ul style="list-style-type: none"> ① 労働災害ゼロの達成に向け、現場技術員及び職員への安全教育をより一層徹底するとともに、労働環境及び待遇改善に努めます。 ② 従業員の新規採用に向け積極的に取り組み、担い手育成を重点的に行います。 ③ 組合員に有利な販売情報や活用可能な補助事業等の情報を逐次提供するよう努めます。 ④ 森林経営計画による一体的な利用間伐事業を中心に、森林整備を積極的に提案し、組合員への利益還元に努めます。
販売部門	<ul style="list-style-type: none"> ① 車両系と簡易架線の集材システムを効果的に使い分け、木材の搬出区域を拡大し収益性の向上を図ります。 ② 素材生産技能の向上と作業の効率化を図り、組合員の所得向上に努めます。 ③ ICT技術の導入等により「美山の森・森林施業プラン」の提案を効率的に推進し、素材生産量の増加を目指します。 ④ 木材の販売を有利に進めるため、常に情報収集を行い組合員に利益還元の最大化を目指します。
加工部門	<ul style="list-style-type: none"> ① 河鹿荘への燃料用チップの安定供給に努めるとともに、販売コストの削減に努めます。 ② モルダー製品、住宅製品等の在庫品の販売に努めます。 ③ 加工施設の各種維持管理費の節減に努め、機械装置等の処分を含めた現施設の有効な利活用について検討します。
森林整備部門	<ul style="list-style-type: none"> ① 分収造林事業(森林整備センター)の事業拡大を図るべく、新規契約地の確保並びに保育予算等の確保に努めます。 ② 府・市の各関係機関との連携を強化し、計画的かつ持続的な事業推進に努めます。 ③ 購買事業の販売品目について、組合員のニーズに合わせた安心・安全なものを選択し、修理等のアフターサービスにも万全を期します。
一般管理部門	<ul style="list-style-type: none"> ① 組合員のための森林組合であることを第一に、親切・丁寧な事業の実行に努めます。 ② 組合員とのコミュニケーションにより、様々な情報交換並びに山林管理の助言等の提供に努めます。 ③ 事務の簡素化、経費の節約に努め、効率的な管理体制の構築に努めます。

美山町森林組合組織図

令和6年4月1日付



美山町森林組合理事監事名簿

令和5年3月～令和8年3月

代表理事組合長	前田 好久	理 事	菅井 達夫	理 事	東 伊三生
代表理事	丸山 修	理 事	山内 陽士	理 事	戸本 和巳
代表理事	山名 英夫	理 事	菅生 哲二	代表監事	川邊 清史
理 事	大牧 泰夫	理 事	相模 久雄	監 事	片山 正一
理 事	小野 秀明	理 事	志賀 隆裕	監 事	野谷 淳

組合員さんの異動についてのお願い

- ★加入届 (新規加入)
- ★脱退届 (山林の所有地を手離した、後継者がいない等)
- ★組合員名義変更届 (相続、世代交代、共有林などの代表者変更等)
- ★山林異動届 (売買等により所有面積が増減した場合等)
- ★出資証券喪失届

組合員の異動(加入、脱退、名義変更、所有林の増減等)は、ご本人様または、相続人様からの申請によってのみ可能であると、定款に定まっています。該当される場合には速やかに手続きを済ませますよう、よろしくお願いいたします。

上記書類は組合に備え付けていますが、お電話等でご連絡いただければ、必要な書類を折り返しご送付申し上げます。簡単な手続きですので、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。※手続きには認め印が必要ですので予めご用意願います。

◎平成24年4月より、個人・法人を問わず、売買や相続などにより森林の土地を新たに取得された方は、面積の多少に関わらず、90日以内に市町村長へ届出が義務化されました。また、令和6年4月から、相続登記の申請(3年以内に申請)も義務化されましたので、お気をつけください。

令和6年度4月からの新人を紹介します

多賀 誠太郎

プロフィール

- 京都市西京区桂 出身
- 毎日西京区から通っています。天気の良い日はバイクで通勤します。京都市内と美山の天気の違いにより雨に遭うことも…

自己紹介

令和6年4月1日より、美山町森林組合で事業課技師補として働くこととなりました。大学時代にバイクでよく美山町に来ていたこと、美山町出身の知り合いが組合について熱弁してくれたこと等で時宜を得ました。これまで林業とは無縁でしたが、先輩方のご指導頂き、少しずつ理解を深めていると感じます。月並みですが、安全第一を掲げ向上心持って日々の業務に努めてまいります。よろしくお願いいたします。



2024年記念市及び大犯土表

月	記念市	大つち	小つち	土用	木の伐れる日
7		5~11	13~19	19~31	1~4
8				1~6	7~31
9		3~9	11~17		1~2 18~30
10	第50回木材まつり26日(土)			20~31	1~19
11		2~8	10~16	1~6	17~30
12	納市 20日(金)				1~31

- ☆ 記念市は予定です。(荷主さんと相談の上追加することがあります)
- ☆ 大つち・小つち共7日間です。その期間に木を伐ると、虫が入りやすく腐りやすい。土用も又、同じ。
- ☆ 伐採・下刈りは、その期間に伐ると早く腐る。竹も同じ。
- ☆ 出荷量の少ない時、大雪の場合は中止することがあります。
- ☆ 土用、大つち、小つち、いずれもその期間に土を動かすことは悪いといわれている。

市況報告 第1749回市

令和6年6月6日市

スギ		単位:円
中目	4m×18~24cm	10,500~14,000
"	4m×24~30cm	15,000~18,000
柱	3m×16~20cm	13,000~15,000
"	6m×16~20cm	15,000~18,000
元木良材	4m×24cm上	35,000~40,000

ヒノキ		単位:円
柱	3m×16~20cm	13,000~15,000
"	6m×16~20cm	20,000~22,000
中目	4m×18~24cm	16,000~18,000
"	4m×24~30cm	20,000~22,000
土台	4m×14~16cm	10,000~11,000
元木良材	4m、6m共	50,000~55,000

市況コメント

総売上1900万円 総材積1500m³ 今回の市は入荷が少し減りました。時期的な事と思われます。お客様は多く、スギ4m26cm~28cmは高値でした。他の材の値動きはありません。合板材・パルプ材は引合いが強いです

(株)北桑木材センター提供

TEL.075-854-0136 FAX075-854-0332

良い木、売り良い木を育てましょう